

理事・監事ら全員留任

首都圏食肉卸組が総会

首都圏食肉卸売業者協同組合(阿部昌史理事長)はこのほど、東京都港区で第51回通常総会を開催した。総会では、第51期(2025年7月1日〜26年6月30日)の事業報告および決算関係書類の承認、第52期の事業計画・収支予算、経費の賦課および徴収方法の決定など、全9議案を審議し、いずれも原案通り承認した。

第52期事業計画では、農畜産業振興機構(ALIC)の補助事業として「食肉流通経営体質強化促進事業」「国産食肉等新需要創出緊急対策事業」「和牛肉販売強化等支援緊急対策事業」に取り組む方針を示した。

また、従来の食肉学校研修に加え、新たに「食肉・精肉加工技術実践研修」を実施する他、低需要部位を活用した商品開発や和牛肉販売強化事業を推進することが報告された。任期満了に伴う役員改選では理事7人、監事2人の全員が重任となった。

今期役員体制は次の通り。

理事長 阿部昌史▽常務理事 天井輝、池尻尊広▽理事 吉澤直樹、樋口敏郎、小川晃弘、須賀実▽監事 尾身俊彦、大輪幸一